



浜っこだより

浜原
隣保館

TEL: 75-0340

令和4年10月16日発行 ☆No.7☆



職場体験



【9月14日(水)～16(金)】邑智中学校3年生(澤田侑樹さん)の職場体験がありました。

<1日目>

隣保館の役割と事業の内容を説明しました。澤田さんは、とても真剣に聞いておられました。こちらに来る前は「隣保館は何をやる場所?」と思っておられたようですが、この説明で隣保館の役割について理解していただいたようでした。そして、「人権というイメージ」についていくつか書いてもらうと、学校で学んできた人権意識が文章に表れていて、やはり人権教育は大切だと思いました。



<2日目>

地域の方と一緒にタオル体操をしました。地域の方から「侑樹さん、大きくなって～!」という声が聞こえました。

この職場体験では、人権ポスターを描いてもらいました。澤田侑樹さんの素敵な作品を提示していますので、皆さんもぜひ見に来てください。



<3日目>

陶芸体験教室に参加してもらいました。初めての経験で少し難しい様子でしたが、形になっていて満足そうに見えました。焼き上がりが楽しみです。



この3日間、隣保館職員も地域の皆さんも、澤田侑樹さんととても楽しい時間が過ごせました。またいつでも、気軽に来てほしいと思います。

口腔体操 楽しい早口言葉

ニャンコ 子(こ)ニャンコ 孫(まご)ニャンコ

※ いろは倶楽部では、タクシー送迎ができます。詳細は、浜原隣保館にお尋ねください。

いろは
倶楽部

11月16日(水)
13:30～15:30

脳トレ

ゲーム・体操

工作・塗り絵

療育音楽



～コラム～

先日、ある中学校で公開された授業を参観することができました。社会科の授業で、「江戸時代前期、差別されていた人たちはどのように思われていたかを考える」という授業内容でした。実際に生徒たちが、革靴や雪駄・わら草履を見たり触ったりして、それぞれのよさについて話し合うなど、和やかな雰囲気の中で授業が進んでいきました。「江戸時代初期は成長の時代であったこと」「江戸時代に、どんな人が雪駄を履いていたのか」「誰でも雪駄を履けたわけではない」ことなど、新しい視点が提示され新鮮な感じがしました。

新しいことを学ぶことや学び直すことの大切さを改めて気づかされた授業参観となりました。



陶芸体験教室を行いました

【9月16日(金)】湯抱の陶芸家 森山良二さんに指導をしてもらい、「ミニ植木鉢」を作りました。土をへび状に伸ばして積み上げ、仕上げにワンポイントの飾りも付けました。個性的な世界に一つだけの作品ができあがりました。



相談事業

人権相談、生活相談、就労相談、福祉・健康相談、教育相談など幅広く相談に応じています。隣保館での相談内容は『外部にもれることなく、料金もかかりません』お気軽にご相談ください。

11月の予定

1(火) 押し絵教室
8(火) 楽しいちぎり絵教室
15(火) 邑智小6年生「竹細工学習」
16(水) いろは倶楽部

17(木) 健康教室
(前田美佳さん指導)
18(金) 俳句教室(予定)
21(月) お元気体操教室
25(金) 古文書教室

